

インターネットを活用して茨城の魅力を紹介しよう

大郷朔矢 菊地朝陽 北口龍晴
 指導者：小室浩之教諭 片岡達郎教諭

ABSTRACT

There are a lot of events and tourist spots in Ibaraki. But most of them are not famous in the rest of Japan or the world. Our purpose was to perform research and fieldwork to develop a system which can spread information about Ibaraki. We decided to create a network service which introduces events and tourist spots to customers. We focused on two points. First is the variety of people's needs. Based on the results of questionnaire: "What kind of places do you want to go in Japan?" we found out that people's request is really diverse, like Hokkaido, Kyoto, Okinawa, Akihabara and so on. So we categorized events and tourist spots into some types, such as outdoor activity, for dating spot, subculture. Second is the importance of religion. Particularly Islamic rule is very ascetic. Then we decided to study whether each event or tourist spot is a good environment for Muslim, Christian and other religions. Our business plan contains all of these contents.

1 はじめに

茨城のイベントと言ったら何があげられるだろうか。この土地に住んでいる人なら、土浦の花火大会や石岡のお祭りなどたくさんのイベントがあげられるかもしれない。しかし、それを例えば関西さらには海外の人に聞いてみたらどうだろうか。おそらくイベントの一つも上げられなければ茨城の場所さえあやふやな人も多くいるだろう。これは、茨城やイベントの質が悪いのではなく情報の広め方や調べやすさなどが足りないのではないかと私たちは考え、この研究を始めた。

2 目的

観光客のニーズを調べることによって、イベントや観光地を効果的な方法で宣伝し茨城に人を集めて活性化を促す。

3 方法

- ・インターネットでのアンケート調査
- ・つくば市の手代木中へのアンケート調査
- ・水海道市の職員の方にインタビュー(予定)
- ・つくば銀行の方とのコラボ
- ・アプリ開発に携わる方にお話を聞く(身内)
- ・実際にそのようなアプリを作っている会社へのインタビュー

4 結果・考察

① アンケート調査

目的

- ・人気のある土地やイベントを調べることで、どのようなものが需要があるか調べるため。
- ・情報の収集方法を知ることによってどのような媒体で情報発信するのがよいか定めるため。

方法

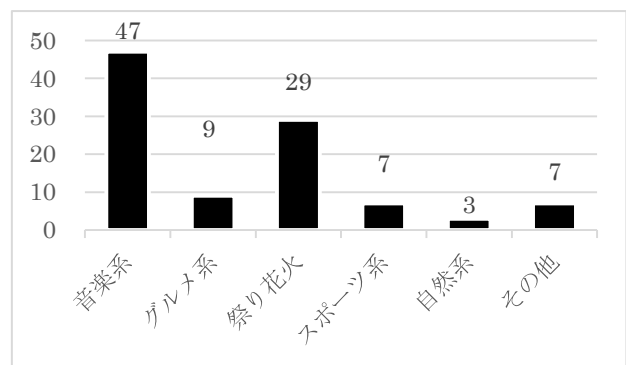
SNS、つくば市の中学生へ紙上アンケート

若年層を対象としたのは、行動意欲が他の年代よりあり、これからも社会の中心であるので適任と考えたから。

SNSで行ったアンケート結果

対象者102人 年齢15~19歳

質問① あなたが今参加したいイベントは何ですか。



その他の内訳 コミックマーケット 博物館など

質問② ①でそう答えた理由

趣味、盛り上がりたい、友人、恋人、過去の経験

質問③ あなたが今良いと思う街(外観、便利さ、魅力等の観点からはどこですか？

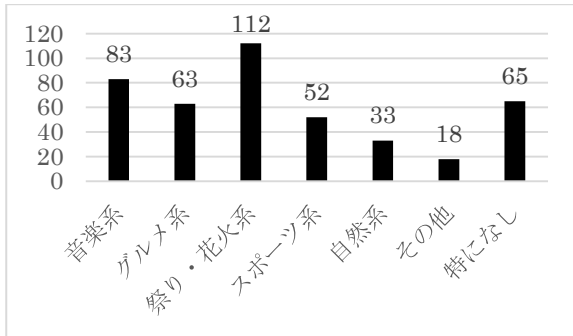
筑波 18 京都 10 東京 8 土浦(地元) 7 守谷 5

鎌倉 3 横浜 3 仙台 3 滋賀 2 神戸 2 他母数1 省略

中学生へのアンケート結果

対象者 426人 年齢 12~15歳

質問Ⅰ あなたが今参加したいイベントは何ですか。



その他の内訳 サブカルチャー系

質問Ⅱ あなたが今行ってみたい地域（景観, 利便性, 魅力などで）はありますか？ 理由もあれば書いてください。

（全106地域の投票があったため票数が多かったところだけを示す。）

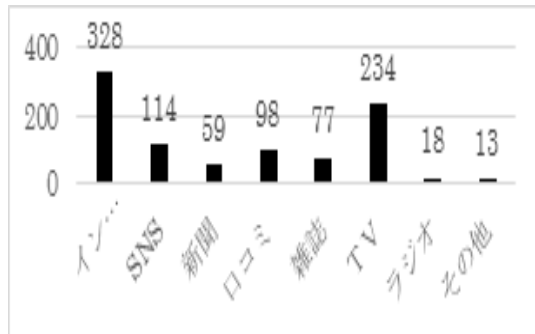
沖縄48 京都38 東京38 北海道25
秋葉原18 舞浜（ディズニー）15 等

理由 ・その土地の食べ物が食べたい。

・自然が多くてきれいだから

・とても便利だから。 その他多数

質問Ⅲ あなたはどうやって情報を集めますか？



5 考察

このアンケートからイベントには人気なものというのがあるが地域に関しては人それぞれ行きたい場所というものがありそれぞれの魅力があるのでひとつにかたまらないということが分かった。比較的都会が人気だが名古屋など都会でも票が集まっていないことを考えるとよりそのことが言えると思う。つまり、それぞれのニーズに合わせた情報を提供することが大切なのではないか。また情報の収集方法では、インターネットを使う人が多数で有効的な宣伝方法になると考えた。若年層を対象としたのは、行動意欲が他の年代よりあり、これからも社会の中心であ

るので適任と考えたから。TVも次に多く最近CMでテレビ番組の広告をしているのでスポンサーがなればうまく使えそうである。

② 水海道市の職員の方へのインタビュー

先日起きた大雨による鬼怒川氾濫によりやむなく中止した。テレビ東京のガイアの夜明けという番組をみてグルメ情報サイト「ぐるなび」というところが外国人にも対応できるように4か国語で検索できたりメニューに多国語の訳があるかなどがわかるサイトを作っていることを知り、この考え方を自分たちの企業プランの基礎にしようと考えた。

③ 筑波銀行の方への相談

筑波銀行の渡辺さんに茨城のイベントや観光地の検索サイトをつくり海外の観光客にも対応したサイトを作ることを提案したところ批評して下さった。

- ・他のサイトとの差をつけるために独自の視点考え出したものが必要ではないか。
- ・収益の出し方でスポンサー料だけではなかなか厳しくほかの方法を考える必要があるのではないか。

6 起業プラン

(1) 概要

茨城の観光スポットの情報を掲載し、茨城の魅力を外部に発信するとともに観光客を呼ぶインターネットを利用したサービス。条件による検索機能で客に適した情報を提供する。

(2) 内容

① 掲載する情報として考えているもの

- ・観光スポットの写真,住所,電話番号,サイトURL(リンク)
- ・雨天時の利用可・不可 ・地図のリンク
- ・主な対象者(ファミリー向け,カップル向け等)
- ・ナビサービスサイト,アプリへのリンク
- ・近隣の宿泊施設 ・混雑予想 ・行った人のレビュー
- ・高校生の視点をふまえた説明文を書く。

② 客に入力してもらう情報として考えているもの(サービスの充実化のため)

- ・年齢,性別→観光スポットの客の年齢層や男女比から お勧めを絞り込む
- ・目的(家族旅行,デート,レジャー等)→上と同様,絞り込みのため
- ・住所→目的地までのおおよその所要時間の表示可能化

- ・日帰り,宿泊→近くに宿があるかどうかを考慮した表示順に変更

- ・ジャンル(音楽,グルメ等)→絞り込みのため

(3) グローバルな対応について

- ・多言語表示対応
- ・外国語対応可能スタッフの有無表示
- ・食事の宗教対応可不可表示(グルメスポット,宿泊地の場合)
- ・主要空港からの地図リンク掲載
- ・近場に礼拝堂や教会があるかの表示

(4) 収益の出し方の候補

① スポンサー料

I) 情報を掲載する代わりに観光スポットから料金を頂く
→料金の追加でサイト,アプリトップページに表示するなど
特殊演出,キャンペーン開催も可能か

II) 増加した売り上げのうち数%を頂く

② スマホアプリ化

I) 有料アプリとし,収益を出す

II) 広告バナー(ゲームアプリや他サイト等のもの)を掲載し,
そこから利益を得る

III) 会員制化し,年会費や月会費を頂く

③ その他

土産物の通販の仲介をし,手数料を頂く

謝辞 筑波銀行の渡辺一洋様には調査に協力していただきました。
ありがとうございました。